

防災のヒント

糸魚川市駅北大火のような災害は、いつどこで起きてもおかしくありません。いざという時に自分の身を自分で守れるように、また、少しでも災害を防ぐことができるように、日頃から防災知識を身につけていきましょう。

「ジオしき」を合言葉に、初期消火を学ぼう



万一火災が発生した時、消防車が到着するまでの間、隣近所で協力して初期消火を行うことが、皆さんのまちを守るうえで重要です。

みんなであつなく、消火の連鎖「ジオしき」を合言葉に、実践につなげていきましょう。



- ジ 住宅用火災警報器で気付く
- オ 落ち着いて知らせる
- し 消火器で消火
- き 協力して消火 40mmホース

「ジオしき」実践地区を紹介！ 大和川東区



▲消火栓にホースを付けた後、接続が確実であるかを確認



▲ノズルの先端部分を回して、放水

8月29日(日)、大和川東区は、40ミリホースや水消火器を使った初期消火訓練を実施しました。区長の井澤さんは、「参加した女性全員に放水体験してもらいました。40ミリホースは、女性でも扱えることが確認できたので実災害での有効性を感じました。今後も初期消火訓練を定期的に行っていきたいです。」と話していました。

参加者は、実践的な対応力を身につけるとともに、地域の絆を深めていました。

Pickup! 出前講座

消防職員が地域や団体の集会に出向いて、初期消火の実践や防火の知識などをお話します。自治会や企業などのグループでご利用ください。

問合せ先：糸魚川市消防本部 TEL.553-0119



第14歩!

「鯉?いいえ、金魚です。」

大町区にお住まいの大島和子さん宅の巨大な金魚。大きいもので30cmを超えるほどで、見せてもらった際、「鯉」と間違えてしまいました。飼い始めてから10年以上経つそうですが、気づいたら大きく成長していたとの事。魚の事だけにまさに「目から鱗が落ちる」思いでした。「地域の方や子供に見に来てほしい」と話していた大島さん。感染状況が落ち着いた時、まちの話題になっているはずですね。

